

### Ⅲ 活動報告

#### 1. 平成29年度

##### (1) 平成29年度「私立大学研究ブランディング事業」採択に関する記者会見開催

平成29年11月10日(金)に「藍の家」にて記者会見を行った。

会見では、松重和美学長から事業概要の説明があり、続いて近藤真紀教授から食用藍による機能性表示食品の開発等について、また、有内則子准教授から藍文化の継承や藍の知の拠点づくりについてなど、各取組みの詳細について説明があった。



##### (2) 『四国大学附属新あわ学研究所「特別講演会」』にて講演

平成29年12月16日(土)に四国大学交流プラザにて四国大学附属新あわ学研究所主催「特別講演会」を開催した。

この中で松重和美学長から「四国大学研究ブランディング事業(愛称:SUBARU事業)」の概要説明があり、生活科学部管理栄養士養成課程近藤真紀教授が「阿波食用藍の可能性～生活習慣病の観点から～」と題して講演を行った。



松重学長による講演



近藤教授による食べる藍に関する講演

### (3)「私立大学研究ブランディング事業」ホームページ開設

平成30年1月5日(金)に「四国大学研究ブランディング事業(愛称:SUBARU事業)」のホームページを開設した。



<https://www.shikoku-u.ac.jp/subaru>

### (4)徳島インディゴソックスの選手が球団Tシャツの藍染を体験

平成30年2月20日(火)、27日(火)に四国大学「藍の家」にて徳島インディゴソックスの選手が球団Tシャツの藍染を体験した。

生活科学科有内則子准教授が「藍染めの魅力とこれから」と題して講義を行った。その後、選手の皆さんが思い思いのデザインでTシャツを絞り染めした。



インディゴソックスの選手が有内准教授の指導を受け、藍染をしている様子



選手が染めたTシャツ

## 2. 平成30年度

### (1)「阿波藍の食用機能性に関する研究成果」記者説明会開催

平成30年5月7日(月)に四国大学で「阿波藍の食用機能性に関する研究成果」について、興味ある研究成果が得られたため記者説明会を開催した。

松重和美学長、生活科学部管理栄養士養成課程近藤真紀教授、人間生活科学研究科人間生活科学専攻修士課程本村衛由・小谷航が出席した。

この中で、①葉の体重増加抑制、腹腔内脂肪重量減少効果、②藍葉・藍種子の血清脂質と血糖改善効果を確認したことを報告した。



四国大学での記者説明会の様子



松重学長挨拶

### (2)『四国大学附属新あわ学研究所「特別講演会」にて講演

平成30年9月19日(水)に四国大学にて四国大学附属新あわ学研究所と共催で「特別講演会」を開催した。

徳島県農林水産総合技術支援センター井村恒治専門研究員が「タデ藍における青色色素高濃度化技術の開発」と題して、吉原均専門研究員が「タデ藍の研究について」と題して講演を行った。

四国大学 新あわ学研究所  
平成30年度 特別講演会  
日時 9/19(水) 10:30~  
場所 四国大学 中央棟4階(A408教室)  
入場無料  
演題  
「タデ藍における青色色素高濃度化技術の開発」  
徳島県立農林水産総合技術支援センター 専門研究員 村井 恒治 氏  
「タデ藍の研究について」  
徳島県立農林水産総合技術支援センター 専門研究員 吉原 均 氏



村井恒治氏による発表



吉原均氏による発表



(3)「藍染め和紙を使った美馬和傘」製作及び製作工程の映像作成

四国大学が包括的連携協定を締結している美馬市の伝統産業である「美馬和傘」を「美馬和傘製作集団」の指導を受けながら生活科学科4年生が卒業制作の一環として「藍染め和紙を使った美馬和傘」を製作した。また、製作状況を写真や映像としてアーカイブ化した。



制作したフォトブックの表紙



夏休みを利用して、美馬市にある工房へ通い、竹の骨組みから仕上げまで行った

撮影場所：うだつの町並み

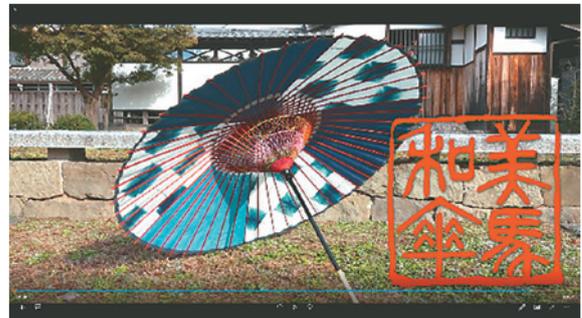


私は美馬和傘製作集団の方々に指導を受け、和傘を骨組から全て制作しました。体験を通じて職人の現状を知り、伝統を受け継いでいくことの厳しさを実感しました。また、和傘に使われる模様や用途、認められた願いなど、実用性だけでなく和傘の魅力を感じることができました。今ではこのような思いの詰まった和傘を自分が持っているということに誇りを持っています。

「涼味」と名付けた和傘は和紙を藍染し、藍の魅力も和傘の魅力も活かせるデザインを考えました。和傘を透過する夏の光は、ふんわりとした深い青になり、うだるような夏の暑さが嘘のように思えるほど涼しく感じます。私の感じた和傘の魅力少しでも多くの方に届けたいと思います。



美馬和傘製作工程紹介ビデオ(約60分)



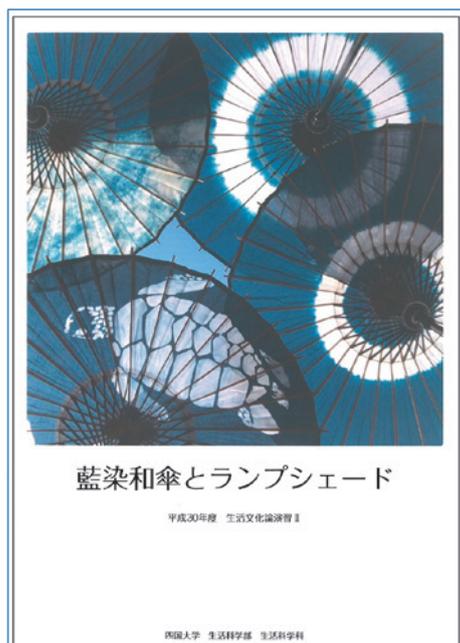
美馬和傘PRビデオ(約3分)

#### (4)「藍染和傘とランプシェード」製作

四国大学生活科学部生活科学科2年「生活文化論Ⅱ」の授業で、藍染めした和紙や布を使った和傘(日傘・ミニ和傘)とランプシェードを製作した。美馬市の「美馬和傘製作集団」から講師を派遣していただき、学生は、徳島の伝統産業である「藍染め」と「美馬和傘」について学んだ。



3回の授業で和傘の歴史から製作まで学生が学んだ



フォトブックから抜粋



(5)石井町教育委員会所蔵「藍農工作之風景略図(絵巻)」の複製・図録の発行

石井町教育委員会所蔵の「薬(すくも)」の製造工程を描いた絵巻を四国大学が写真撮影を行った。そのデータを利用して「藍農工作之風景略図」の複製を制作した。また、この絵巻を紹介する展示用のパネルを制作して、藍の情報発信を積極的に行った。

また、絵巻を解説する図録を発行し、県内市町村の教育委員会や図書館等の関係者に配布した。

● 平成30年11月16日(金)～18日(日)開催の芳藍祭で展示(藍の家2階)



平成30年11月15日(木) 徳島新聞



● 平成31年2月9日(土)、徳島県主催の「藍サミット2019 in 徳島」で展示(徳島市ふれあい健康館)



平成31年3月23日発行の図録

藍の種まきから収穫、薬(すくも)作りまでの各工程を解説

(6)「とくしま藍の日記念シンポジウム」への参加

平成30年7月24日(火)にホテルグランビリオン徳島で開催された徳島県主催「とくしま藍の日記念シンポジウム」で生活科学部管理栄養士養成課程近藤真紀教授が講演を行った。また、「四国大学研究ブランディング事業(愛称:SUBARU事業)」に関するパネルを展示した。



(7)「藍サミット2019 in 徳島」への参加

平成31年2月9日(土)に徳島市ふれあい健康館で開催された徳島県主催「藍サミット2019 in 徳島」に参加した。オープニングで四国大学書道文化学科の学生が「沈殿藍」を使った書道パフォーマンスを披露した。

また、石井町教育委員会所蔵の「藍農工作之風景略図(絵巻)」の複製品、学生が製作した藍染作品、「四国大学研究ブランディング事業(愛称:SUBARU事業)」の紹介パネル等を展示して「藍」の情報発信を行った。



オープニングでの学生による書道パフォーマンスの様子



四国大学研究ブランディング事業(愛称:SUBARU事業)のブース

(8) 徳島インディゴソックスの選手がリストバンドの藍染を体験

平成31年2月13日(水)

四国大学「藍の家」で

徳島インディゴソックスの選手がリストバンドの藍染に挑戦した。



(9) 「藍に関する落語会」を開催

平成31年3月12日(火)に四国大学で「藍に関する落語会」を開催し、100名を超える参加者があった。

平成29年秋に真打に昇進した女流落語家柳亭こみち師匠をお招きして「藍染め」に関連のある古典落語の名作「紺屋高尾」を披露していただいた。また、「阿波の紺屋を考える」と題して、日本文学科須藤教授による解説もあった。

文部科学省私立大学研究ブランディング採択事業

日時 平成31年  
3月12日(火) 14時00分～

場所 四国大学  
文学館2階F205教室

定員 90人  
一般聴講大歓迎

落語に学ぶ藍文化

人情話の名作「紺屋高尾」を題材に

無料

落語 お楽しみ 落語家 柳亭こみち

解説 「阿波の紺屋を考える」  
文学部日本文学科教授 須藤 茂樹

中人(休憩)

落語 「紺屋高尾」 落語家 柳亭こみち

柳亭こみち師匠のご紹介  
人間国宝柳家小三治の弟子柳亭燕路の一番弟子、二つ目から注目され、切れのいい落語が心地よく、女性や子どもの表現はこまやかなのである。ネタの深さも喜喜で滑稽話から人情話までバリエーションが豊富である。「紺屋高尾」は真打昇進披露興行にあわせて師匠の燕路師匠に教わったもの、これからは楽しみである。徳島では東野町、喜作町、徳島市で喜喜を1回している。

問合せ先 四国大学学術推進支援課 Tel.088-665-9909  
〒771-1192 徳島市西神町吉川字子野123-1

主催 四国大学SUBARU事業推進室・四国大学附属新あむ学研究所



須藤教授による解説



「紺屋高尾」を演じている  
柳亭こみち師匠

(10) NHKラジオ「旅ラジ」公開放送で「阿波藍」の情報を発信

平成31年3月13日(水)に四国大学でNHKラジオ「旅ラジ」の公開放送が行われ、「四国大学研究ブランディング事業(愛称:SUBARU事業)」の紹介を行い、「阿波藍」の情報を全国に発信した。

NHK徳島放送局宮崎あずきアナウンサーがMCを務め、四国大学人間生活科学研究科4名の院生が「食藍」について、生活科学科有内則子准教授が「藍染め」について、最後に徳島県庁の職員の方が「阿波藍」について話をした。



(11) 「四国大学研究ブランディング事業」紹介映像制作

「四国大学研究ブランディング事業(愛称:SUBARU事業)」の紹介ビデオを制作した。この事業の大きな柱である「藍染め」「食藍」「古文書」の各事業について、担当される四国大学教員へのインタビューを中心にまとめた。



SUBARU事業紹介ビデオ(約6分)

(12) 「藍の花酵母を使用した日本酒」の醸造

三好市にある三芳菊酒造株式会社の協力を得て、「藍の花から採った酵母」を使用した日本酒を醸造した。四国大学短期大学部西堀教授と学生が仕込み工程を体験した。

また、日本酒のラベルについては、生活科学科の学生がデザインし、「藍の花酵母」の文字を書道文化学科の学生が揮毫した。



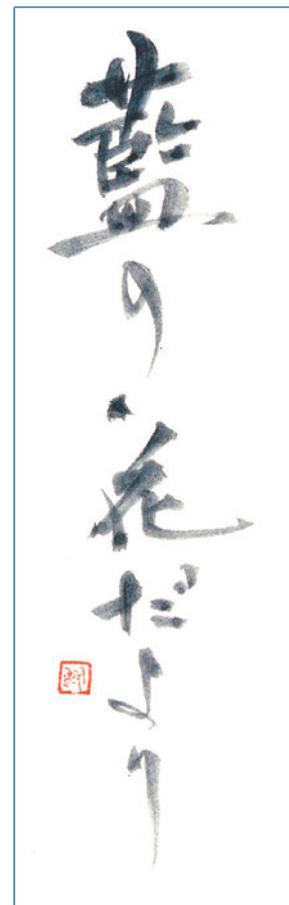
三芳菊酒造株式会社の酒蔵で仕込み工程を体験



出来上がった日本酒



学生がデザインしたラベル



学生による揮毫